關西大學新報

所行發
山崎平山出版部
大阪府東淀川
關西大學二部新聞部
編輯兼發行人
白井幸雄

新聞部より

新報がますゝ向上發展せんが爲どしゝ投稿且つ御指導御鞭撻をお願ひいたします

學生大會と文化祭

幾多の紆餘曲折を經た二部學友會も愈々その組織の確立をみ、去臘十二月十日大平前會館に於て、その發會式が擧行された。夫々勤務中にもかゝはらず學生續々參加、會場は忽ち滿員となる。

午前十時より學生大會は、私學法、文部次官通牒に關して熱心な討議が續けられ學生大會は未曾有の活氣を呈し、二部學生の眞摯な姿が見られた。次いで二部學生の有する文化祭が、一般市民の前にも繰り展され、二部の有する演劇部學窓座出演による演劇「客間」あるひは有志による學生のど自慢、加へて奈良丸讃による浪曲、松鶴の落語、望月太津七郎社中、粹屋登美社中の日本舞踊等によって文化祭をいやが上にも盛大ならしめ、映画〝逃亡〟に終る午後九時まで見る者をして、正に大學の文化祭はかくあるべしと感嘆せしめた。

學生大會紛糾!!

學生大學も型の如く進み組織部長和田君日高文部次官通牒に及ぶや、俄然、議場騒然たる、議長不信任案も飛び出し珍らしくも學生大會は活氣を呈した。

和田君「文部省では行政警察權を通じて學園の進歩的學生團体、自治會の動行の内偵を行つてゐたが十月九日、日高次官名を以て國公私立大學、高專、師範學校及地方長官に彼の有名な通牒を發した。これに對する我々の態度を決定しなければならない」

及川君「この問題は學生がその自由を奪はれるか保持するかの岐れ目である。我々は自由を保持しなければならない。先づ中央委員會の態度を決し緊急に次回の學生大會に提示されたい。大學法に就いても私は一週間ごとの問題を考へた。大學法に謳はれてゐる〝職業教育を課す〟といふことは我々學生を獨占資本主義の帝大化政策としてゐる。絶對反對である」

こゝで、大學法文部通牒に對する我々の態度を何日かに決定せんとしても決定せんとの學生の眞摯なる主張と既に一般人も入場して次に文化祭をとなり、議長大會を續行するか。文化祭に移るか。今やかねて呼び物の腹慶劇、學生有志によるのど自慢に入る。鐘がなつても強引に自分の氣のすむまで唱ふ者突然席の出なくなる者等々、それゝ自稱デイック・ミネ、田鶴嘉雄、灰田勝彦の身振りよろしく、のど自慢といふよりも、むしろ心臓慢入賞者喬名晏笑裡にこれを終つた。

かくてプログラムは進み、本文化祭學生の部の棹尾を飾る、演劇部學窓座による〝客間〟（三幕）が演ぜられた。竹原寛、森藤淳、岩村秀男、小幡節子等の演技はさすが關西學生演劇界にその名を馳せてゐるだけあり、非常な熱演であつた。

一般の部は始めに歌謡曲、大阪市素人のど自慢のナンバー・ワン津村スミ子さんナンバー・ツウの安倍愛子さんに、「オオソレミオ」「君よ知らや南の國」その他流行歌等、美聲をふるつていただいたが、一階觀客をするのは第一に社會が悪い。同じ條件ならば官學卒業生をと官廳でも一般商社でも考へている▲先づ私學の學生は一部の等級に私學生自身官學に憧れてゐるばかりでなく、官學に比べ低い官學受驗の自信のない者である▲勿論私學の自由闊達なるを好み最初から官學に憧れを持たず私學に進む人もあるとつては以上の官は大變無縁であるが▲ちなみに米國では子を持つ親は自己の貧力も子弟を教育するとの云ふ觀念から私學に學ばせると云ふ▲官學は專らコツショク階級の子弟の學ぶところであるとも聞いてゐる▲要するに私學は私學としての主体性を確立し先づ我々私學生はもつと勉強せねばならぬ▲一部と二部の關係も同じことが云へよう。

學生大會紛糾!!

つた。議事中和田君の熱辯と、及川君の論旨一貫、態度堂々、表現妙を得たる辯論、川西中央委員長の〝君が我々を不信任するならば我々は諸君を不信任する〟の態度を決し、諸君は治んと出席しない。そして本日始めて出席して、中央委員は獨裁だ、不信任だとやられては叶はない。我々が諸君を引きずるのではない。諸君が我々を任命して諸君の決定を我々に實行せしめるのだ」と淳々論ずる態度は本學生大會の華であつた。

文化祭

學生大會紛糾のため、豫定の時間より少し後れたが、愈々二部學友會創立記念の文化祭に移る。既に場内は一階學生席は立錐の餘地なく、二階一般席も老いたる母、幼き弟妹、美しき人々の雰囲気は上々!!

先づ傳統を誇る辯論部の辯論を皮切りに、賛助出演の一部音樂部に依る管絃樂、レエモンド湖・アロング、ザ・ポジョ・トロット・スウイング、ブラザー・スウイング・ベカ、ド、ダダ等の推進力をちんとしている。大いに國員を可愛がつて頂きたい。

次に岡部常任委員より豫算提出され、委員長之を説明すれば、愈々問題の大學法日高文部通牒が俎上にのせられ熱心な討論が行はれた。尚設立宣言拍手で以て終り清水副委員長の閉會の辞で「所定より一時間遅れて午後一時終了、ようやく文化祭へ休む暇もなく移つたのであつた。

岩崎學長の言葉

本日諸君と親しく話すを得ないことは誠に殘念である。自分も關大二部に學んだ經驗上現代の二部學生に對する敬意と憂情は限りないものがある。私が留學する時に先輩より「米國に行つたならば、先ず敬業の方面に勵むよう」との御忠告があつたので先ず一般教養科目に就いて勉強した。

教養が現在非常に役立つている。專門の學科に入ると、米國よりも寧ろ日本で新しき大學の先達に立ち、修めた學問の方が上であつたが、然しその底に流れてゐる教養方面は全く米國で得たものである。一部と二部とは何等差別するものではない、教養の方面に於て或は二部學生は一部學生にやゝおとりはしないかと學長として、常に心配するところである。本日の文化祭は二部學生の教養のバロメーターであるから、しつかりやつて頂きたい。

我が關西大學二部學生こそ少くとも關西一、否日本一の二部大學として迎まれたい。その點に於て今後一層教養の向上を切望するものである。

主張　一九四九年

〝冷い戰爭は未解決のまゝ一九四九年に持越され、今世界の二大潮流は判然と、世界地圖を二色に塗りつぶしてしまつた觀がある。その一大潮流は西洋に於いては、パルダイ逆正から、ベルチック海を隔て東北歐、ポーランド、ドイツを合む中歐へ、更に黒海を望むトルコを除く、アドリヤ海にまたがる南中歐金城にかけて、東洋に於いては、滿洲、蒙古を脳めつくし、その赤い流れは餘波をかつて、揚子江以北、朝鮮の半まで押迫んでゐる。

流は、南北アメリカ、濠洲の三大陸から西歐にかけて更に紅海を間にして、アフリカ大陸より、アラビヤ海、ベンガル灣、南支那海、日本海にかけて、民主主義の旗印の若に、その流れは赤い流れに、優るとも劣らぬ力を以つて湧いてゐる。而して二大潮流の相遇する最先端では未だに小競合が後を絶たない。朝鮮、中國、ベルリン、パレスチナ、の人類の最も幸福なる、最も満足出來得る生活を、もたらさんと諸種の具体的政策を掲げ、活動してゐるのである。我々は、今こゝに吾々は、現者の見解を述べて、その正否を云々する必要は毫もない。と云つても、人類社會の今日の狀勢に無關心である人間を解放し、自由平等の立場から西歐にかけて、更に盛くと云ふ基本原則に於いては何等異るところはないのである。只その手段方法に於いて、大いに趣を異にする。前者は私有財産制を認めず、專らその經濟的平等に重點を置き、後者は私有財産制を認め、飽くまで個人の尊重に重點を置く、而して兩者共、世界人類の最も幸福なる、最も満足出來得る生活を、もたらさんと諸種の具体的政策を掲げ、活動してゐるのである。我々こゝに吾々は、現者の見解を述べて、その正否を云々する必要は毫もない。と云つても、人類社會の今日の狀勢に無關心である人間を解放し、自由平等の立場から西歐にかけて、更に盛くと云ふ基本原則に於いては何等異るところはないのである。只その手段方法に於いて、大いに趣を異にする。前者は私有財産制を認めず、專らその經濟的平等に重點を置き、後者は私有財産制を認め、飽くまで個人の尊重に重點を置く、而して兩者共、世界人類の最も幸福なる、最も満足出來得る生活を、もたらさんとする思想、世界の各國共、政治、經濟、法律、宗教の機構、又、人口、資源、氣候、官語、慣習の樣相等に於いて、生活樣式を異にすると云へ、人類社會に生存する個々の人間自体に就いて云ふと、その終局目標たる、より良き生、存、權、獲得――勿論各人の自由平等を最大基本原則とする――（の共通理念が存在すると考へられる。故に、僅へ、二つの流れが、この世界で互ひに面積を闘けようとしても、人類社會に最も適する流れのみが、その思想を徹底き、美しい實を結び、そうでない時は當然片方の流れに押流されてしまふ。兩者共に適しない時は、更に適する流れが必要となつて來るのである。

いづれにもせよ、結局、吾々の生活に、最も適する、流れを、受入り少し後れたが、吾々は、人間として、常にあるべき、人間、良しいの、である。この鐘こそ一九四八年から、一九四九年に繰越された課題なのである。

一九四九年。

一九四九年は是非此の鐘の響や、奴隷的服從の思想に、閉ける年でありたいものである。（T）

うのんぼ

▲昔から官學私學の差別待遇が喧ましく言はれる。各省官吏の大部分は東京大學法科出身である▲官

三役男」「逢い琴、鶴蘭」「松鶴の落語、日本舞踊「日傘」「都鳥」「浦島」「甘酒茶屋」「執着獅子」が行はれた。映画に入る前に待望久しき福引が、ミス文化祭によつて行れた。電氣スタンド始め諸淳山な貧品を前にして、金本文化祭執行委員長の抽籤で商學部二年最後に忙がしい役員、各係長も一瓶客となり、寛るいで映画鑑賞「イヴィッド・リーン監督、シリア・ジョンソン、トレヴォア・ハワード主演の有名な〝あひびき〟が上映され、午後八時過ぎが上映され、午後八時記念すべき二部第一回文化祭の幕を閉ぢたのである。

コロンビア大學と學生々活

中川庸太郎

コロンビア大學の學生生活についての注文を受けたが、既に時代ものとなつた、とりとめもないことを書くより、先ずコロンビア學園の特徴を主眼をおきまして、アメリカ大學の一端を知るよすがとして—是れに筆者の經驗した學生々活の一端を加へてゆこうと思う。先ず其學園の壯麗、雄大さ、其美しい調和と統一である。コロンビア大學は紐育の上町に當る百十四街と百二十二街にまたがつて、ハドソン河とモーニングサイド高地に圍まれた一大亘岩の上に玉城のように聳立していて既に百九十四年の歴史を有し、今回アイゼンハワー元帥を總長に迎へたばかりの知るところである。此の約三万四千坪の校庭CAMPUSに、巨大なドームを持ち伽藍のような大講堂群を中心に大小五十有余の建造物が、一つのシンメトリカルな調和の裡に配置されている。この多數の建造物は勿論同時に建設されたものでないことは明らかであるが、これは建設されたものでも其時代の新しい建設樣式を採り入れながらも全体として調和を失はず、コロンビアの一部だと直觀せしめる程の統一美を持つている。矢張り學校經營に一貫せる計画と統一のある證左である。その爲に敗戦後、桑原、除村氏等の外國文學者から鋭い批判の矢を向けられねばならなかつたことを思へば、底までしみこませ反省しなければならない。このようなことは今度初めてのことである。にもかゝわらずこゝに言わねばならない罪は誰にあろうか。國文學の研究、特に古典研究が面白くないと言う聲をよく聞く。もつともそう言う者が意情であるかも言うとそうではない。非常に熱心に勉強している者からそ

の現れであろうと思われる。コロンビアのモーニングサイド敷地は現在では大都市の中に位置して最早多少手狭の感があるが、それでも立木、植込、芝生には年中奇麗に手入が行はれ、芝生は常に青々としていて、植込に多數の果風が生息している。此果風に南京豆を與へていた學生を時々見受けたが、まことにほゝえましくなごやかな雰圍氣である。餘談ながら我國では野鳥さえ漸次消滅しつゝあると聞くが、これ程迄に遷ふものかと全くなさけなくなる。此のモーニングサイド高地に隣接して百十七名、合計二千二百九十七名収容している BARNARD COLLAGE(但シ大學院では入の知るところである。此の約三万四千坪の校庭CAMPUSに、巨大なドームを持ち伽藍のような大講堂群を中心に大小五十有余の建造物があり、更に上町に當るハドソンとハレム河の合流地點に四つの競技場を持つ BAKER FIELD がある。以上凡て併せて總面積は約十万坪となつている。以上の形而上のコロンビアの持つ大きさよりも更にコロンビア・ユニバーシティと言う名称の下に、以上の敷地の數字は凡て REPARTMENT OF THE PREBIDENT OF COUMTIA UNVERSITY FOR 1939 による)

科、薬剤、圖書、醫學、工科、商科に前述せる女子大と師範大學、其他五つのカレヂを加へ、是等の上に政治科學、哲學、商科、純粋科學等の大學院 GRADUATE FACULTY をそなへ名實共に眞に大學たるにふさわしい。此の大學院の下には多數の分科を包含しているが茲では詳細紹介することは止める。このような尨大なる教育内容に配する教授陣も極めて豐富なもので、一九三八—三九年大學暦年では正教授が四百二十一名準及助教授が五百五十九名、講師其他千三百十七名、合計二千二百九十七名に上る。在學國下にある女子大學生を收容している BARNARD COLLAGE(但シ大學院では入の知るところである。此の約三万四千坪の校庭CAMPUSに、巨大なドームを持ち伽藍のような大講堂群を中心に大小五十有余の建造物があり、更に上町に當るハドソンとハレム河の合流地點に四つの競技場を持つ BAKER FIELD がある。以上凡て併せて總面積は約十万坪となつている。以上の形而上のコロンビアの持つ大きさよりも更にコロンビア・ユニバーシティと言う名称の下に、以上の敷地の數字は凡て REPARTMENT OF THE PREBIDENT OF COUMTIA UNVERSITY FOR 1939 による)

地頭十三、勞務四、保險九、市場二十二、統計十、交通八、法律九、の十大分科を有している。以上の如く分科目を多彩なる貴に魅ろくべきである。以上は學科目の豐富多彩なる貴にある。

而も以上のような夠剛多彩の内容に、配せられる常時二千數百名に上る教授陣と三万に達する學生數を擁する巨大なる學園が一糸亂れざるアメリカ式能率と秩序の下に運營せられること、は洵に驚異的事實である。其一例として筆者の經驗よりして約四ケ年にわたる通學期間中、たゞの一回の休講さへあつたという記憶がない。加えて授業開始時間も五分と遅れたことがない。時計の如く正確其物である。時計の如く正確なアメリカ式生活の環境の下に於て始めて首肯される。一學期を通じて計算されている以上、學校外に於ける政治的活動に於ても學園内の自治活動に於ても、直接行動や外團体の支部を學内に持つことは極力避くべきである。

三、學内の政治的活動の限界はその學校の性格學生の身分、年齢等を考慮して決定されるべきでない。

四、學外の横斷的組織が個々の學校の意志を外部より拘束するようなことは學校自治運動の立場から許されるべきでない。

五、學生と勞働者は社會的地位を異にするものであるから學生運動が勞働運動に範を取つたり又これと協同することは適當でない。

六、わが國の政治が國會民生主々義を建前としている以上、學校外に於ける政治的活動に於ても學園内の自治活動に於ても、直接行動や外團体の支部を學内に持つことは極力避くべきである。

三、學内の政治的活動の限界はその學校の性格學生の身分、年齢等を考慮して決定されるべきでない。

四、學外の横斷的組織が個々の學校の意志を外部より拘束するようなことは學校自治運動の

問題の次官通牒とは?

一、政治の研究批判の自由は學校内に於ても尊重されて、ただが學生の政治的中立を侵すような學校は政治活動は許されるべきではない。

二、學生が個々に結社に加入する自由は認められるが特定の政黨の支部又はこれに類する學外團体の支部を學内に持つことは極力避くべきである。

三、學内の政治的活動の限界はその學校の性格學生の身分、年齢等を考慮して決定されるべきでない。

四、學外の横斷的組織が個々の學校の意志を外部より拘束するようなことは學校自治運動の

ところに從つて最も望ましい一年間のスケヂュールを組むことが出來る。從つてアルバイトをかたわらに持つ學生にも極めて好都合である。

以上のような夠剛多彩の内容に、配せられる常時二千數百名に上る教授陣と三万に達する學生數を擁する巨大なる學園が一糸亂れざるアメリカ式能率と秩序の下に運營せられること、は洵に驚異的事實である。其一例として筆者の經驗よりして約四ケ年にわたる通學期間中、たゞの一回の休講さへあつたという記憶がない。加えて授業開始時間も五分と遅れたことがない。時計の如く正確其物である。時計の如く正確なアメリカ式生活の環境の下に於て始めて首肯される。一學期を通じて計算されている以上、學校外に於ける政治的活動に於ても學園内の自治活動に於ても、直接行動や外團体の支部を學内に持つことは極力避くべきである。

三、學内の政治的活動の限界はその學校の性格學生の身分、年齢等を考慮して決定されるべきでない。

四、學外の横斷的組織が個々の學校の意志を外部より拘束するようなことは學校自治運動の

國文學徒の反省

小久保實

近代文學が國文學として、研究の對象となつてからまだ日は浅い。しかし國文學の研究に於ては吾人の意義をそれ自身はもつている。そのことについては今こゝでは觸れないことにする。現代の文學は次の國文學が現代の文學につらなる歴史的發展の線上に當然生れねばならなかつた社會的必然性をもつてうまれたことには何人も異論がなかろう。ところがこの自明の理をはつきり認識している國文學者が、極めて少數であつたと言うことは國文學に

とって大きな不幸であつた。その爲に敗戦後、桑原、除村氏等の外國文學者から鋭い批判の矢を向けられねばならなかつたことを思へば、底までしみこませ反省しなければならない。このようなことは今度初めてのことである。にもかゝわらずこゝに言わねばならない罪は誰にあろうか。國文學の研究、特に古典研究が面白くないと言う聲をよく聞く。もつともそう言う者が意情であるかも言うとそうではない。非常に熱心に勉強している者からそ

ういう言を聞く。國文學研究についての、從來の視野の獨斷的研究に關しては暫らく措き、「文學」に對する意識が正當かどうか。又ひろく「藝術」とは如何なるものかを問うべきである。「文學」そのものに對しての確たる認識をもつて研究にたずさわるという所に、面白くないという言をはくなその健がある。それは又、舵を失つた船の航海の如く危險この上もない。「文學」とは何ぞや。これは非常に大きな問題である。近代文學研究の意義の一つとして以上のような尨大な内容を持つ名實共の綜合大學として、其提供する學科目も亦豐富且多彩多岐となら ざるを得ぬわけであるが、筆者の在學した前述の政治學部のグラヂュエート過程の一分科を形成する經濟科の純粋經濟科目丈でも試みに拾つて見ると四十五科目、同上の實習科目は七つある(歴史、法律、商業、統計等を含まず)大學と大學院を擁する THE SCHOOL OF BUSINESS では、會計學が十八、廣告五、農業四、銀行二十、經濟學關係が十八、企業財務十二、

立場から許されるべきでない。

五、學生と勞働者は社會的地位を異にするものであるから學生運動が勞働運動に範を取つたり又これと協同することは適當でない。

六、わが國の政治が國會民生主々義を建前としている以上、學校外に於ける政治的活動に於ても學園内の自治活動に於ても、直接行動や外團体の支部を學内に持つことは極力避くべきである。

三、學内の政治的活動の限界はその學校の性格學生の身分、年齢等を考慮して決定されるべきでない。

四、學外の横斷的組織が個々の學校の意志を外部より拘束するようなことは學校自治運動の

とに直接に血のつながりをもつ文學を研究することによって、「文學」の本質に肉迫せんとするものである。我々現代の學徒は自由に、且様的關係にある近代文學を蔑視して、想像も及ばぬ程遠く距つた時代の古典文學にぶつかつていつて、果して眞の研究が可能であろうか。

これは一方的見解かも知れない。近代文學から古典へ、上代からの國文學の流れをたどるも一方法であるとも言えるであろう。その通りである。唯問題は再び前え戻るが、「文學」に對する認識の問題である。これ以上はく

どくなるから言わない。

近代文學という親近な文學を研究して「文學」に對する認識を深め、その上にきづきあげられた文學研究の觀度は、即ち上代中世近世の文學研究の源底である。そうでなければそれは學問ではない。科學的でないものは學問ではない。單なる個人の玩弄物である。學問の研究は慣習慣見を排し正しい認識のもとに眞文地を切拓いてゆかねばならない。そこにこそ學問の意義があり、それにたずさわる者のよろこびがある。

(筆者は專門部國漢學教授)

青年隨想

楠木德男

青年は未完成である。特に私はその第一樂章をも完成していない。完成出來ない苦惱が絶えず私の周圍をとりまいて離まない。そんな氣持で私はふとこんな事を書いてみたくなつた。

× × ×

青年にあるものは意氣と熱情であり殊にその中で一等である。そして限りなき眞理への憧れである。私達は動き易く動かされ易い。だから「愛情は盲目である」と言われる。

私達の演習學生の如く、研究室迄與へてくれる。尚此中央圖書館は學生の如く自由に開放されている。

大學が提供する凡ての、サービスは單なる快適さ以上のもので、學問的香氣の高い雰圍氣、風格品性、眞に大學の大學なるかなと思はしめるものがある。學園の設備は極めて丁寧親切且つ優秀である。其試驗も日本の大學と比較して極めて嚴重で、大体三時間程度に付關する諸機關の提供するサービスも亦同樣で、例へばコーヒーに三つの大種の殖示などは治んどなかつたと記憶している。僅かに日常のノート一冊で十分成功の望みのある日本の大學と違つて、日常の講義にしても、凡ては要領を得て、大体五倍位で出て行つた。筆者は、と日本で最も持つて居る教授は稀れであつた。

其設備優秀の一例として圖書館の設備である。コロンビアの持つてゐる藏書は製本されていないパンフレットを除いて、一九三五年現在で百十万冊、一年の購書購入豫算は約五十万弗、前述せる大圖書館メイン・ライブリーの外に各學科に附屬せる夫々の圖書館があり、上級の演習學生のみ、研究室迄與へてくれる。尚此中央圖書館は學生も使用したことがないことによってもわかる。たゞ外出する値かの間の保温のための外套を必要とするのである。

以上コロンビア大學と學生々活の一端を極めて限られた視野から前後無統一に傳へた事に過ぎない。こんなことを書き出したら、まず切りがないので此迄で止めねばならないが、最後に強調していた筆者が學園を被つた教授の人々の風貌を多少でも傳えたかつたのであるが、既に與へられた制限のためこれは後の機會に譲らねばならない。(筆者は本學經濟學部教授)

青年隨想

楠木德男

私が終戦後涙して最も感激したものは「愛情はふる星の如く」に於ける尾崎秀實の信念である。彼はその生涯を顧りみて友人に送つた訣別の最後を次の如く結んでゐる。「人生にさんんとして星の如きものは愛情であり殊にその中で一等星の如く光りかゞやいている。そして限りなき眞理への憧れである。私達は動き易く動かされ易い。だから「愛情は盲目である」と言われる。

私達は正しいと信ずる事は必ず實行する勇氣を持たねばならぬ。夢は永遠である。青春の幸福は万金を買ふ事は出來ない。宜しく青年は我が青春に悔なき積極的苦惱を血と汗で体驗し眞理への道に勇往邁進せねばならぬ。人々は待聞いたことがない。こんな國柄であるから開放自由なゆったりした教育が出來るのだ。一千冊以上に上る雑誌等も全く自由に開放されている。

大學が提供する凡ての、サービスは單なる快適さ以上のもので、學問的香氣の高い雰圍氣、風格品性、眞に大學の大學なるかなと思はしめるものがある。學園の設備は極めて丁寧親切且つ優秀である。其試驗も日本の大學と比較して極めて嚴重で、大体三時間程度に付關する諸機關の提供するサービスも亦同樣で、例へばコーヒーに三つの大種の殖示などは治んどなかつたと記憶している。僅かに日常のノート一冊で十分成功の望みのある日本の大學と違つて、日常の講義にしても、凡ては要領を得て、大体五倍位で出て行つた。筆者は、と日本で最も持つて居る教授は稀れであつた。

其設備優秀の一例として圖書館の設備である。コロンビアの持つてゐる藏書は製本されていないパンフレットを除いて、一九三五年現在で百十万冊、一年の購書購入豫算は約五十万弗、前述せる大圖書館メイン・ライブリーの外に各學科に附屬せる夫々の圖書館があり、上級の演習學生のみ、研究室迄與へてくれる。尚此中央圖書館は學生も使用したことがないことによってもわかる。たゞ外出する値かの間の保温のための外套を必要とするのである。

以上コロンビア大學と學生々活の一端を極めて限られた視野から前後無統一に傳へた事に過ぎない。こんなことを書き出したら、まず切りがないので此迄で止めねばならないが、最後に強調していた筆者が學園を被つた教授の人々の風貌を多少でも傳えたかつたのであるが、既に與へられた制限のためこれは後の機會に譲らねばならない。(筆者は本學經濟學部教授)

豫算成立の經過

一、同部常任委員会前年度殘高 三,[illegible],[illegible]
豫想增收 一,000,000
計 一,000,[illegible],[illegible]

10・22 足立委員会開催、
10・30 各部事業内容、部員數、諸資料、豫算案提出を求む
11・3 中央委員会を作成、
11・10 常任委員會開催決定せず
11・12 豫算編成小委員會にて案を作成
11・14 定例委員會開催、右案を一部修正の上可決、後豫算委員會を開催せるも委員集らず流會
11・17 各部會代表、中央委員出席の上、豫算案を幹事會承認して幹事會→同案中央委員會承認→終に豫算成立

收入の部	
學友會費	三,[illegible],100
學部費	三,[illegible],[illegible]
專門部	三,[illegible],[illegible]
教育後援會費	三,[illegible],[illegible]
前年度殘高	一,000,000
豫想增收	一,000,000
計	一,000,[illegible],[illegible]
支出の部	
學友會費	三,[illegible],[illegible]
記局費用	[illegible],[illegible]
自治會費用	[illegible],[illegible]
文化祭費用	[illegible],[illegible]
各部會活動費用	[illegible],[illegible]
大學祭費用	[illegible],[illegible]
既拂經費	[illegible],[illegible]
豫備金	[illegible],[illegible]

學生と政治

及川昭人

千里山學舍

日本民主革命の特異性は三つに分類し得る。

第一は過去の日本歴史に記された三大革命である大化の改新、源頼朝に依る建武の中興、明治の維新に比較して、これらが人民大衆は凡そ縁遠い一部特權的上層階級の權力の交換であつたに反し、全人民の覺醒に依る下から盛り上る大衆の力に依つて遂行されるものであり、第二に第二次世界大戦終了後の世界は民主主義の波におはれてゐるも、大國たると、小國たるを、洋の東西を問わず、民主化の本然的要求は強い。

されど規模に於いて、方法に於いて、日本民主革命程大なるはない。二十世紀に於ける世界的意義を有する偉大なる革命は、ソビエット連邦の共産主義革命、更には隣邦中國の三民主義革命であつた。現行の日本民主革命こそ、これら二つの革命に優るとも劣らない歴史的意義を有する。第三に現實の世界の强大國家は何れも武力を背景として居るにも拘わらず、我等は武裝を放棄し、永世局外中立を掲げ軍隊なきも、平和にして文化の香り高き民主日本を世界諸國家にさきがけて鴻創せんとするに在る。吾人は歴史の觀點に立つて日本民主革命遂行に於ける學生の政治的立場に論を展開する。

本質的に學生の使命を規定するなれば眞理探究こそ、その最高目的と云へるだらう。門外不出、面壁九年の覺悟を以つて學問研究に突入し、努力すべきてあらう。この点は何人と云へども肯定するであらう、吾人も又同感である。

然れども歴史的に現實的に學生の歩みを回顧し、分析するなれば、如何に學問えするなれば、如何に學問えの意志と、眞理探求の自由が暴虐にも否定せられた事實は、天皇制權力を笠に着る專制、官僚の教育への不當干渉は天人共に許さざるものがあつた。總ての學園は獨占資本の帝大集成所と化し、官立大學就中各帝國大學はその感が特に强かつた。學問への道は支配階級の手に掌握せられ、眞の學問は到底不可能であつた。

昭和初期に勢を得つゝあつた國粋ファッショの萠芽の前に完全に眞理えの自由は否定せられ、「見ざる、聞かざる、云わざる」の封建的專制的統制に屈服せしめられた。

斯かる現象に遂落したるは大同的に世界の客觀的反動化が最大の理由であるかも知れないが、當時の日本の現實の下にあつては實踐あるのみ。

「學生の本質は眞理探求に在り」との抽象的概念のみで眞に自由を明るい、民主的な學問をなし得るであらうか。

吾人は否と答へたい。學問研究に忠實實踐あるべきである程緊張條件は倍加し、眞理一の意欲と現實とのギレンマに落ち入るであらう。これ即ち過去の學問の自由を否定した、封建的、商學的要素が社會と學園の破壊に現存してゐる証左に外ならぬ。ともあれ今日の場合限り我々は自己の運命は自主的に開拓すべく自ら起ちたらなければならない。

現實に於ては抽象的學徒本質論はナンセンスで無り、現實克服への可能性はない。此處に眞理に忠實たらんとする限り學園改造、學園民主化の爲の實踐への歩みが必要とされるのである。更に最近加へるに反動勢力立直りの兆が見へ、學生の自由を再び束縛せんとする可能性が强い。此處に現代學生は過去の悲劇を再び繰り返さない爲に新らしき深い自覺に徹すべきである。

吾人は冒頭に日本民主革命の特異性は下から盛り上る全人民の積極的參加に依つて、より偉大に遂行し得るとした。

即ちそれの具体的解釋は先づ社會を構成する最元素からざる單位である各個人が、民主主義の世界觀に徹し、民主主義の實踐を通じて構成される都市或ひは農村、更には職場、學園と云ふ場所を民主化する事である。上から强制されるものは全体主義であり、下から盛り上るものが民主主義である。學園の自由を守り、眞理追求の途を開いそれと上から、あたへられるものではなく、あらゆる抑壓と拘束に苦しみ抗して戦ひとられるものが自由なのだ。人類の文化と社會の進歩に逆らふものがどうなるかは戦ひに敗れた民であるを我々は學生の政治的立場と解釋し、斯かる基本的觀点に立つ學生運動の意欲を切願するものである。

吾人の特に考へる點は、今後の世界にしろ、日本にしろ或は政治、經濟、文化、道徳の一切にしろ二十世紀の原子力時代に相應する獨よう。敗戦後の所謂戦後論なるものはどうも底譯文の様な氣のするものが少くない。例へばブラウニング・シムリー・パイロン・ゲーテ等の實質的に近代社會と云ふものを持たなかつた日本人が、天皇制絶對主義の專制時代への反撥として、自らの理論を西洋近代の偉大なる天才的個性の持主に求めようとする事は當然である。併し乍ら彼等が敬へを乞ふた所の諸々の個性は既に百年前のものであり、日進月歩の社會はこれらの天才達を跳び越えてどんどん先へ進んでゐる。新しい歴史を創る爲に我々は學生の政治的活動としての學生運動の意義を再確認しよう。

最後に吾人の愚論に對して諸賢の御批判を切望する。

「人間の他力本願的島國根性が、人類史に反逆し、今日の悲劇を招いた根本原因である限り我々は自己の運命は自主的に開拓すべく自ら起ちたらなければならない。

それをしも學問は才能に應じて爲さるべし、と社會の良識は認識し、現念し、叫ばれつゝも、最高利潤の獲得へと流れる資本制社會制度の下にあつては實態は依然として財力と權力に支配されて來た。

戦敗した我等は民主革命に依る日本民族の自立を世界に宣言し、新憲法を制定し文化立國を國是としたのであるが、新憲法は今後の日本は斯くあるべしと云ふ理念的命題であつて、現實は過去に比較してさして變化せず理念の誠に程遠い。

新憲法の制定施行を以つて日本民主化成れりと斷ずるあるとするならば、それは決定的誤謬である。法律の制定、制度の民主的改革は一應遂行されたものゝその運營に於て完全に未熟である。骨組は出來ても肉付けは一つもされてゐない。即ち、理念現實化はまだしである。されば、我々日本民族の一員として或は眞理探求の學徒としての使命は世界的要求する所の日本化、新憲法の現實化に積極的に當る事である。「どうにか誰かがして呉れるであらう」

學費納入に關する件

頭書の件に關し、中央委員會は、理事會及び後援會と交渉の結果、左記の如き方法を以て納入することに決定しましたので、此段通達致します。

「原則として次の如き分割拂とする」

十二月拂　九〇〇圓（專門部八〇〇圓）

內譯

授業料　六〇〇圓（專五〇〇圓）

後援會費　二〇〇圓

一月拂　八〇〇圓（專七〇〇圓）

內譯

授業料　六〇〇圓（專五〇〇圓）

後援會費　二〇〇圓

二月拂八〇〇圓（專七〇〇圓）

內譯

授業料　六〇〇圓（專五〇〇圓）

後援會費　二〇〇圓

但し本人の都合に依り一括拂を行う事を妨げない。

この方法については會計部に、後援會費を免除されること。

以上

自由主義の基本理念

西川安男

我國で用ひられてゐる自由主義と言ふ言葉は甚だ廣くて破綻に拘束されてゐるので今これを簡單な文章で定義づける事はかなりの困難さを感ずる。先づ種々な他の言葉と比較對照してその内容を明らかにしたい。自由主義は何をさしおいても先づ封建主義に眞向から反對する觀念であり且亦封建制度を打倒しようと考へるイズムである。即ち人間はジャン・ジャック・ルソーの云ふ如く生れ乍らにして平等であるべきものであり、封建的制度は人類史に反逆し、今日の悲劇を招いた根本原因である限り我々は自己の運命は自主的に開拓すべく自ら起ちたらなければならない。

それをしも學問は才能に應じて爲さるべし、と社會の良識は認識し、現念し、叫ばれつゝも、最高利潤の獲得へと流れる資本制社會制度の下にあつては實態は依然として財力と權力に支配されて來た。

戦敗した我等は民主革命に依る日本民族の自立を世界に宣言し、新憲法を制定し文化立國を國是としたのであるが、新憲法は今後の日本は斯くあるべしと云ふ理念的命題であつて、現實は過去に比較してさして變化せず理念の誠に程遠い。

新憲法の制定施行を以つて日本民主化成れりと斷ずるあるとするならば、それは決定的誤謬である。法律の制定、制度の民主的改革は一應遂行されたものゝその運營に於て完全に未熟である。骨組は出來ても肉付けは一つもされてゐない。即ち、理念現實化はまだしである。されば、我々日本民族の一員として或は眞理探求の學徒としての使命は世界的要求する所の日本化、新憲法の現實化に積極的に當る事である。「どうにか誰かがして呉れるであらう」

ない。この意味に於て自由主義は民主主義の前驅をなすものである。結論は以上の通りである。それ故に自由主義は資本主義に喰ひ込まれやすい。即ち資本主義は封建主義を手中に收めて、さんざん之を弄ぶ事に利用し便乘して今度は自由主義に悲き込み新しく自由主義的資本主義を形成せんとしてゐる。即ち國民大衆に政治的自由を與へると同時に經濟的自由を與へよと云ふ主張は資本主義の乘ずる處である。即ち經濟上の自由、資本家の自由は資本家階級の自由であり富めるものの自由である。自由主義を放棄する故國民に對し、自由でなければならない。

後の世界にしろ、日本にしろ或は政治、經濟、文化、道徳の一切にしろ二十世紀の原子力時代に相應する獨よう。敗戦後の所謂戦後論なるものはどうも底譯文の様な氣のするものが少くない。例へばブラウニング・シムリー・パイロン・ゲーテ等の實質的に近代社會と云ふものを持たなかつた日本人が、天皇制絶對主義の專制時代への反撥として、自らの理論を西洋近代の偉大なる天才的個性の持主に求めようとする事は當然である。併し乍ら彼等が敬へを乞ふた所の諸々の個性は既に百年前のものであり、日進月歩の社會はこれらの天才達を跳び越えてどんどん先へ進んでゐる。新しい歴史を創る爲に我々は學生の政治的活動としての學生運動の意義を再確認しよう。

最後に吾人の愚論に對して諸賢の御批判を切望する。

戀愛論批判序說

―新しい人間把握の爲に―

結城秀夫

敗戦後ダンスと共によく流行したものに戀愛論なるものがある。天皇制絶對權力の方法についてはなほ不明。

天皇制絶對權力の崩壊と共に、自己を見出した青年男女にとつてこれは無理からぬ事である。戀愛と云ふものが人間的な行爲であるならば、戀愛を論ずる事はなりはしないだらうか。私は今までの戀愛論の批判の上に立つて、新しい人間の把握の仕方とそれによつて得られる新しい戀愛觀について若干述べてみよう。

敗戦後の所謂戦後論なるものはどうも底譯文の様な氣のするものが少くない。例へばブラウニング・シムリー・パイロン・ゲーテ等の實質的に近代社會と云ふものを持たなかつた日本人が、天皇制絶對主義の專制時代への反撥として、自らの理論を西洋近代の偉大なる天才的個性の持主に求めようとする事は當然である。併し乍ら彼等が敬へを乞ふた所の諸々の個性は既に百年前のものであり、日進月歩の社會はこれらの天才達を跳び越えてどんどん先へ進んでゐる。新しい歴史を創る爲に我々は學生の政治的活動としての學生運動の意義を再確認しよう。

最後に吾人の愚論に對して諸賢の御批判を切望する。

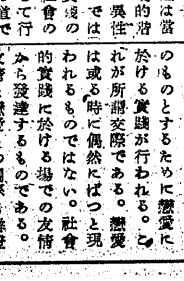
ある。かくてその辨證法的な言辞にも拘わらず自我のみの絶對的になり、觀念論と主体性確立の爲には人を殺しても良いと云ふ事になる。唯物史觀は、人間を社會の一員として、何らかの形での社會的分業によつて社會的實踐を行ふものとして具体的に把握してゐる。更には社會發展の原動力であるか否かとの階級的なる把握もしてゐる。かゝる具体的實踐的階級的な人間の把握は當然戀愛をも具体的實踐的階級的な見地より見る。異性の中に單なる「自我」ではなく階級的な革命的實踐の中に戀愛し、それを社會的改革の唯一層母揚して行くのが唯物論者のとる道である。所謂「戀愛論」の著者達は、萬葉時代から戀愛的な宗教とも手をつながらんとした。當に歴史に逆行しようとしたのである。その歸結が自己の主体性確立の爲に戀人（？）たる女學生を殺すと云ふ事になつたのは寧ろ當然かも知れない。

これらの戀愛論が把握してゐる人間は一体如何なるものであろうか。我々はそこに渡つて羽衣をつけ天上を游泳してゐる人間を見かける。「異性の中に自己を見出し、これと自我との合一によつて、これと一層高い人間性を創造する」と云ふ時の自我とは一体如何なるものなのか。又如何なる方法で異性の中に自己を見出すのだらうか。

我と他我、「との交互に滲透しつゝある對立物を止揚する事にとつて絶對我の境地に到達すると云ふこの形式は、辨證法のお好きな哲學的青年の最も得意とする所なのだらうが、その前に一つお願ひして置きたい事は辨證法は主觀及客觀の嚴密なる分析の上にのみ建て得るといふことを忘れてゐる。今や資本主義の反動期に帝國主義時代となつて文化や人間の疎外の感情の獨立が脅かされてゐる。かくて戀愛はエロ・グロの中に埋沒されてゐる。我々は戀愛のとの戀愛の存在を打破し、戀愛をより美しいものにするために、社會の變革に能動的に參加せねばならぬのである。階級社會の終焉と共に戀愛の正史が始まるであらう。

繰返して云ふ、戀愛も又社會の生産力及生産關係に照應するものである。社會的に歴史的なるものは個体的には歴史的にも現はれる。個体的には個体が一定の段階に達すると戀愛の方面性が生ずる。と現實のものとするために戀愛に於ける實踐が行われる。これが所謂交際である。戀愛は或る時に偶然にぱつと現われるものではない。社會的實踐に於ける場での友情から發達する戀愛との關係を辨證法的にである。今までの戀愛論者は戀愛を感性的にしか捉へてゐなかつた。我々は之を理性的にも把握せねばならぬ。戀愛も含めて凡てのものは文學に於て具体的感性的主体的認識を與へられ、科學的に於て理性的對象的認識を與へられ、哲學に於て抽象的な主對象的な認識を與へられるものである。併しこの事は感性的認識と理性的認識とが形而上學的に分離されてゐると云ふ事ではない。（筆者は經濟學部學生）

「ケーニヒスベルグの橋渡り」



高木貞治著「數學小景」より

橋渡りの問題といふのは、此の橋等まへていたケーニヒスベルグの橋渡り問題は明確でそれを必ず解決すべき計画も出來てゐる。（84時間、十時間勞働なら九日で出來る）

中央委員自己批判

中央委員　奥村　孝

夜間學生である我が學友會員は各自の異つた背景によりほぼ二大別せられるであらう。一は社會的に經濟的餘裕をもつて送り得る人々であり、一は反對に逆境の中に學生々活を送らねばならない人々である。此の二群の異る條件から、前者はインテリゲンツィヤの誘ひから勞働者階級と呼稱される事を嫌惡し恰かもヤミブルぶんとヌミッテル・スタンドとしての立場を孤守し、後者は率直に學生はプロレタリアートであると表明して學生大會の爭論を起し行動する。此の相違によつて學生大會の爭論を起し思想的見解を異にすることは至る事は多くの學友諸兄の自ら知る處である。扨學友會の各種機關（各委員會各部等）は果して此の學生の二大群を適正に代表し或は參加せしめてゐるのであらうか。苦境にめぐつゝある人々は生活そのものに追はれ學校に來る事も至難の時學友會の諸活動に參加せんと欲しても參加し得ない現狀にある。小人見れば學友會諸活動は餘裕ある學生、餘裕を作り得る學生（彼等が學生の大部分だとは誰も云ひ切れないであらう）の爲のみと極言し得るであらう。此處に學友會諸機關の矛盾があり苦悶がある。中央委員會とは何か。中央委員會は本學友會の最高執行機關である。中央委員會は學生大會の決定に拘束されるとは云へ中央委員會の性格如何により學友會を左右し得る重大な機關である——中央委員會の存在は輕視し得ない——その中央委員會も又前述の學友會諸機關の矛盾と苦悶の枠外に出る事は出來ないのである。私達中央委員は自己に今日の窮乏生活の爲明日の榮を抛棄しようとする學友會の諸機關の表面に現はれない學生も把握しそれら學生の爲に努力したであらうか。教育後援會の問題に授業料の問題にその他日常の諸問題に中央委員會は如何なる態度をとり如何なる結論を生ぜしめたか。中央委員會は全學生に、特に困窮せる學生に滿足を與へたであらうか。私は中央委員として前述の矛盾と苦悶を中央委員會に於て如實に訴わねばならなかつた。働く學生と窮乏して不如意の生活に窮乏の日々を送つてゐる學生の分野を代表し働く苦生の實のために闘する私達少數の中央委員の努力は決して滿足するものはなかつたし又數の問題でもあつた。私は私學生」の爲に斗はんとする念願の。「眞に働く學生の爲の學友會」への發言も努力も成果を充分に上げ得る事は出來なかつた。私は過去の斗ひを自己批判し一度二度の不成功に挫折する事なくたゝへ遲々たる歩みであらうも同じ目標を指向する同志吾兄と手をとりあつて中央委員會を眞に困窮のうちに働き且學ぶプロレタリヤ學生の爲にする委員會たらしむべく中央委員會內部で斗ひ努力してゐるのである。私達同志は他の委員會內部で孤戰すれども所期の成果を求め得ない。ならば決して中央委員の地位に懇々とするものでは無い。その時こそ新しい觀點に立つて更に一段と「働く學生」の爲に斗はんとする決定である。大學は富者の子弟のみのものであつてはならない。夜間大學こそ働く學生のプロレタリアートの大學でなければならない。

年頭所感

金本朝一

私も新年になると「今年こそは」と色々企劃し空想するのできるが此の點でもお目出度たいといへる。

門松や冥途の旅の一里塚

目出度もあり目出度もなし

か心にふれるものと覺える。

さて學友會が發足して數ケ月になるがその間、會則の決定、豫算編成、學生大會文化祭と矢継早の實行に日を過してゐて氣が付かなかつたが、やつと落着いて身邊を見廻すとそこに根本的に空虛なものを見出した。一体私は本大學に何の爲に通つてゐるのであらうかと

野聲

中央委員會に物申す

所在明記されたのである。然るに中央委員會は「運動部の豫算が多すぎる。二部の性質上研究部に重點を置くべし」との見解から幹事會案に反對し、當日幹事會は紛糾し、遂に中央委員會は最中算も大幅に計上されてゐる。去年の辯論大會が始めて天六で行はれた時、その後援としての學友會、即ちそれを代表する中央委員會はどうしたか。折角の催しを開催したと中央委員會を開催したと活動に對する旅費と認識が足らないとは云つても仕方はあるまい。のみならず、文化祭當日にあつて、どこで何から買つたか知らないが一升瓶を開けて、プン〳〵臭い匂ひをさせてゐたのは、見る者をして一洋の不快を感ぜしめた。正しく時と場所とその背後の吾々一

本紙第一號及び去る十二月十日の學生大會に於ける經過し、當日幹事會は紛糾し、遂に中央委員會は「運動部の豫算案」に反對